

光市記者発表資料

平成27年5月11日

件名

平成27年度元気なまち協働推進事業交付団体の決定について

内容

光市では、市民の公益活動を応援する「元気なまち協働推進事業」を募集し、この度、平成27年度の交付事業として、下記のとおり交付団体を決定しましたのでお知らせします。

元気なまち協働推進事業は、市民活動団体が行う自主的な公益活動に対して、最大20万円を交付する事業です。(募集期間:平成26年12月10日～平成27年2月27日)

記

1. 交付決定団体

10団体

(団体名) ※詳細は別紙のとおり

- ① NPO法人シニアネット光(代表 福森宏昌)
- ② ママ・ラボラトリー(代表 下畑久美)
- ③ 光市認知症を支える会(代表 山下悦子)
- ④ 明日を拓くあさなえ会(代表 金子功一)
- ⑤ 図書館ボランティア協議会(代表 兼清一枝)
- ⑥ 浅江まちづくりの会(代表 矢部東洋司)
- ⑦ いおき道路見回り隊(代表 吉村常夫)
- ⑧ 光☆古代人の会(代表 仲山哲男)
- ⑨ 光紙芝居(代表 末岡美由紀)
- ⑩ チャイルドハウス「ひなたぼっこ」(代表 原田幸子)

問合せ

担当課 地域づくり推進課地域づくり支援係

担当者 吉永 晋太郎

電話:0833-72-8880 FAX:0833-72-8133

元気なまち協働推進事業交付決定団体 事業概要

No.	団体名	事業名	事業概要
①	NPO法人 シニアネット光	光市の元気を発信しよう	平成26年度に開設したFacebookページを基本に、市民団体の情報発信のわを広げ、光市の元気を発信する。また、支援を地域コミュニティ活動の情報発信に広げ、市民参画のわをさらに広げる。
②	ママ・ラボラトリー	ママと子どもも笑顔で育児を楽しもう！	ママと子どもが楽しめる交流・カフェスペースを提供し、子育て家庭の交流を図る。また、貸しスペースを活用して、ママの得意分野を活かしながら、社会貢献活動の可能性を探っていく。
③	光市認知症を支える会	認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちに～ 「おれんじカフェ」で楽しく～	認知症介護者の交流や相談の場である「おれんじカフェ」を継続実施する。今年度は、新たに活動の周知を図るための情報発信を積極的に行うとともに、託老(軽度認知症の人)を開設する。
④	明日を拓くあさなえ会	浅江地域プラットフォーム	里山で子どもと大人がさまざまな体験をとおして、ふれあい、喜びを共有する。また、参加者がボランティア活動の面白さを体験しながら、コミュニティスクールの活性化につなげていく。
⑤	図書館ボランティア協議会	今、図書館が本当におもしろい！ ～つながれ本と人～	市民に本に親しみを持ってもらい、図書館を身近に感じてもらうため、ボランティアのスキルアップと図書館行事の充実を図る。
⑥	浅江まちづくりの会	あさなえ・ふれあい・ガーデン・ステップ2	オープンガーデンの普及をとおして、美しいまちづくりや観光振興への寄与、さらには、人の交流を進める。今年度は、本事業をとおして、女性のコミュニティ活動参画への応援を進めていく。
⑦	いおき道路見回り隊	支障木等の伐採とその有効活用 で一石二鳥Part II	伊保木地区の支障木等の伐採を計画的に実施し、伐採した木の有効活用を図るとともに、活動状況等を発信して地域の活性化につなげていく。
⑧	光☆古代人の会	光の古代史料活用推進事業	古代道具の復元製作や光市の古代史料の整理・修復、展示等活用の企画・実施支援をとおして、広く市民が郷土とその自然、恵みを知り愛着を持つ機会をつくっていく。
⑨	光紙芝居	ふるさとを語ろう 「おとなと子どもの紙芝居」	誰もが自分の住んでいる地域に関心を持ち語れるよう、紙芝居の作成や参加体験型の発表の場となる「紙芝居講座」を新たに設け、地域活性化の一助とする。
⑩	チャイルドハウス 「ひなたぼっこ」	子育て支援 チャイルドハウス「ひなたぼっこ」	子育てに悩んでいる母親や子どもがホッと一息できる場所を提供し、居場所づくりや相談などのサポートをしていく。